

公共施設再編に係る有識者会議から 提言書が提出されました

有識者3人で構成する「公共施設再編に係る有識者会議」から、地域経営・地方行政・建築の観点で、公共施設の再編について原則や方法などを取りまとめた提言書が市長に提出されました。提言書は、本市の「現状と課題」と「対策」で構成されています。ここでは、「現状と課題」の概要を紹介します。提言書は、情報公開室、各図書館、市ホームページで見ることができます。お問い合わせは、公共施設マネジメント準備室 ☎ 483-1151 へ

人口と財政

八千代市は、人口が増加しているにもかかわらず、人口が減少することを想定して公共施設を再編しなければならない状況にあります(表1)。32年には65歳以上の高齢者比率が25.4パーセント、75歳以上の後期高齢者比率は13.4パーセントとなり、高齢者福祉など社会保障費が増加する見込みです。人口増加を想定した公共施設やインフラは、人口減少に転じた時に大きな負担になります。

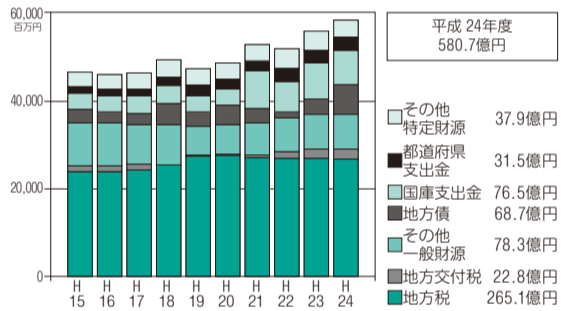
■表1 八千代市長期人口・高齢者比率予測

	平成22年	27年	32年	42年	52年
人口計(人)	189,781	194,932	196,798	194,892	189,253
高齢者比率	20.3%	24.0%	25.4%	26.8%	32.5%
後期高齢者比率	7.7%	10.4%	13.4%	16.5%	16.7%

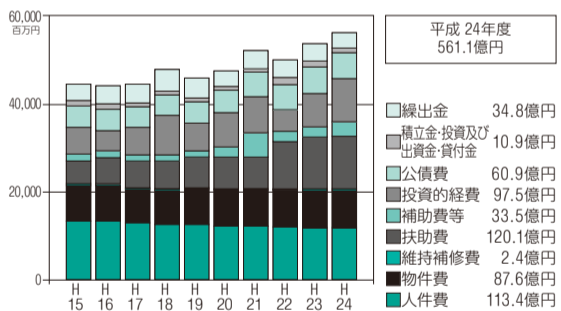
(国立社会保障・人口問題研究所)

財政状況は、歳入面では景気対策などにより増加傾向ですが、自主財源の柱である地方税は現状維持のまま(図1)。歳出面では、人件費は減少していますが、

■図1 八千代市普通会計 歳入決算額推移



■図2 八千代市普通会計 歳出決算額推移



物件費が増加し両者の合計はあまり変化がありません(図2)。扶助費は10年間で約2倍に増加し、普通建設事業費などの投資的経費も、全国的な傾向とは異なり増加傾向です。中長期的にみると、老朽化した公共施設、インフラの建て替え、造り替え需要が高まり、財政状況はさらに厳しくなると考えられます。

公共施設整備

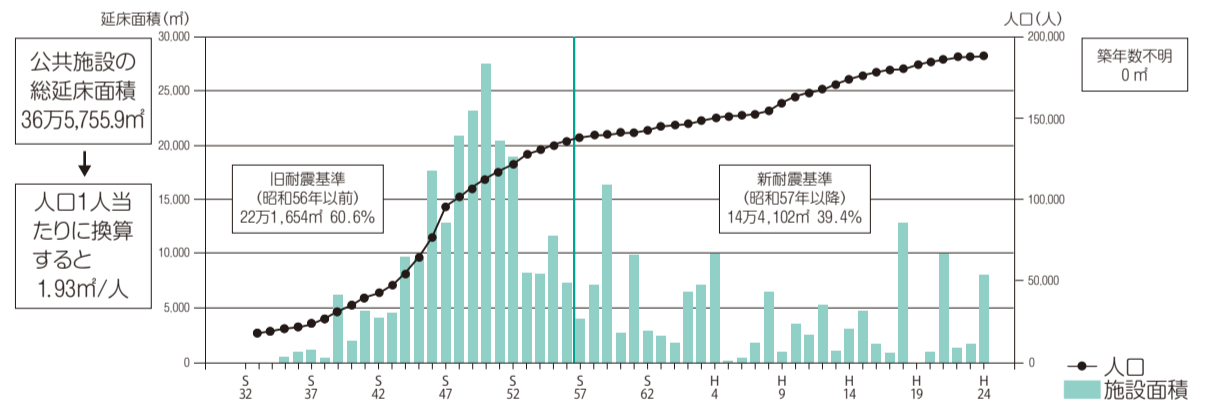
本来、初期に建設された施設が老朽化し始めた平成12年頃から老朽化施設の更新が行われるべきですが、実際には公共施設の新規投資が優先され、更新投資は後回しにされてきたと言わざるを得ません。昭和56年以前の旧耐震基準期の建築物の延床面積の割合は全体の61パーセント(図3)。平均的に投資した場合の理論的標準値が40パーセントなので、「老朽化が相当に進んでいる」と言えます。近い将来、築40年以上の建築物は大規模改修や更新が必要であり、財政的に大きな負担になると考えられます。

市の公共施設延床面積の用途別内訳は、学校施設の割合が高くなっています(図4)。再編では学校施設をいかに扱うかが大きな焦点となります。

更新投資

総務省が推奨する地域総合整備財団のソフトで算出すると、将来の更新投資必要額と予算不足率は次のとおりです。

■図3 八千代市の公共施設整備(平成24年度決算)



- ・今後40年間の更新・大規模改修費用に約1,650億円(年平均約41億円)必要
- ・過去5年間で、既存施設の更新・大規模改修に要した費用は年平均約30億円
- ・年間の不足額は約11億円
- ・不足を解消するには既存施設27パーセントを削減するか、一世帯当たりの負担を年額1万4,000円増やすかのいずれかが必要

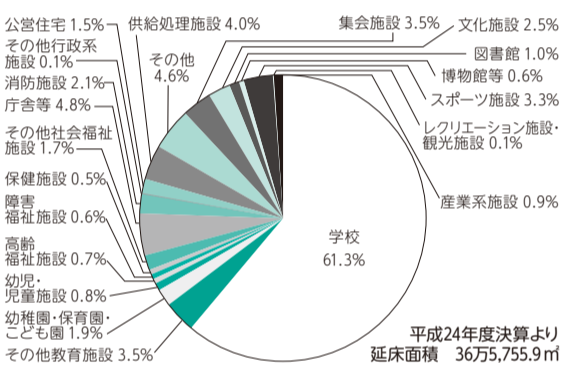
試算の対象に入っていない今後の新規投資分の建設、維持管理、運営費を加算すると、年間予算不足額はさらに5億円増の16億円、既存施設の削減率は35パーセント、一世帯当たりの市民負担額は2万円になります。人件費の削減を進めても、社会保障関係の扶助費の増加が著しく、他の費用を減らすことも難しい状況です。公共施設の予算不足は、公共施設の中で優先順位を付けて解消しなければなりません。

インフラの評価

インフラの更新投資予算が不足すると、公共施設の更新投資財源にも影響が出ます。今回は道路、橋りょうを簡易計算し、次の結果が出ました。

- ・道路 将来の更新費用は年間10.7億円。過去5年間の平均は7.1億円なので、33パーセント不足です
 - ・橋りょう 将来の更新費用は年間1.2億円。過去5年間の平均は0.96億円なので、20パーセント不足です
- この結果から、公共施設とインフラの計画的な整備は同時に検討する必要があります。

■図4 市内公共施設延床面積の用途別内訳



白色トレイは市役所ロビーなどで回収しています

市では、白色の発泡スチロール製食品トレイをリサイクルするため、拠点回収を行っています。洗って汚れを落とし、乾かしてから、市役所ロビー、教育

委員会庁舎、ふれあいプラザ、公民館などにお持ちください。

市内スーパーマーケットの一部では、白色トレイのほか、透明トレイ、卵パックなどの回収も行っています。詳しくは各店舗にお問い合わせください。

コース	6月の資源物・ごみ収集日	朝8時30分までに集積場所へ。不燃ごみは休日と重なった場合も収集	指定袋使用			資源物		コース	該当地域	不燃ごみ	有害ごみ	可燃ごみ	びん・缶・ペットボトル類	紙パック類	紙類		
			不燃ごみ	有害ごみ	可燃ごみ	びん・缶・ペットボトル類	紙パック類									紙類	
1	平日9時~16時30分(祝日を除く) 047(483)4506 (収集依頼受付・要予約)	粗大ごみ受付専用電話 0120(8)44530	1	2	3	4	5	9	村上(成田街道南側)、萱田町(成田街道南側)、村上(3200・3300・3500番台の成田街道南側)、大和田新田(県道幕張八千代線より東側)、高津(県道幕張八千代線より東側)	3	17	第1火	第3火	木	土	◆お問い合わせは、クリーン推進課 ☎ 483-1151 または 清掃センター ☎ 483-4521 へ	
			2	3	4	5	6	7	8	10	11	12	13	14	15		16
			8千代台北	8千代台西、八千代台南	8千代台東	上高野	村上団地	村上(新川の東側)、下市場、村上南、勝田台北	神野、下高野、堀ノ内、保品、米本団地、米本	10	11	12	13	14	15		16
			17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29		30
			24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5		6
			31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
			12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24		25
			25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6		7